



シェーンコーポレーションジャパンと鹿島学園高等学校が提携
通信制の生徒を対象に学習指導施設「学習センター」をシェーン英会話スクール内に設置
英会話を習得したい生徒向けにオプションコース「英語国際コース」も新たに提供

株式会社シェーンコーポレーションジャパン

英会話スクールをチェーン展開する株式会社シェーンコーポレーションジャパン（本社：東京都江戸川区、代表取締役社長：シェーン・リップスコム／宮本早人、以下：シェーン）は、学校法人鹿島学園高等学校（本校：茨城県鹿嶋市、理事長・校長：余湖三千雄、以下：鹿島学園）と提携し、今春（4月）から、通信制の生徒に向けて補習やレポート指導などを施すための拠点となる「学習センター」（通常のスクーリングとは異なる）をシェーン英会話スクールの既存校内に設置するとともに、通常の履修科目以外に本格的に英会話を習得しようという生徒のためにオプションコースとして「英語国際コース」を設置する運びとなりました。

鹿島学園は、平成元年に全日制課程を開校し、平成16年には通信制課程も併設して鹿嶋市近郊のみならず全国各地から約1,000人の生徒を受け入れています。通信制高校の歴史を顧みると、かつては中学校を卒業して工場や会社で働く生徒が高校卒業資格を取得するために入学するという時代があり、その後、不登校やいじめ、引きこもりのために全日制高校には通えないという生徒が入学するケースが増え、現在では「自分のペースで学習できる」「たっぷり自分の時間がとれ、好きなことに時間を使える」「高校時代に何か一つを極めたい」「自分に合った高校生活をコーディネートしたい」などと前向きな姿勢で通信制を選択する生徒が増えてきています。

こうした積極的な学習意欲のある通信制の生徒のために鹿島学園では、前述の「学習センター」を提携校を含め全国約50カ所で展開しています。

さらに高校在学中に専門的な分野の学習に取り組みたいという生徒のために、①大学進学②アニメ・マンガ・イラスト③芸能・ダンス④音楽⑤スポーツ⑥ネイル⑦ペット⑧就業支援⑨保育・福祉⑩海外留学のほか IT、絵本ライターなどのオプションコース（授業料別途）を用意しています。

一方、シェーンは、創業時から“外国語である英語を英語圏以外の国で学ぶための英国流の教授法”を用い、主にロンドンで採用されたネイティブ講師がそのトレーニングを積んでレッスンに臨んでいます。これが日本でも受け入れられ、現在では全国で198校（首都圏で179校＝英会話スクールチェーンとしては他社に比して最多の校数）を展開するに至っています。

この度の提携によって、鹿島学園は「学習センター」の増設により通信制で学ぶ生徒の利便性を高められるとともに、英会話を身に付けて活躍したいという生徒に新たなオプションコースを提供できるというメリットがあります。一方、シェーンは、ネイティブ講師によるレッスンによって国際感覚豊かな人材の育成に貢献できるとともに、実利的にも新たな生徒の獲得や留学の斡旋が可能になるというメリットがあります。

初年度は、シェーンの新宿校、吉祥寺校、西葛西校に「学習センター」を置き、加えてオプションの「英語国際コース」を設けます。次年度以降順次、実施校を増やしていく考えです。

「学習センター」の利用料金は、週3回通学で月額12,000円、諸費用を含めると年間約168,000円です。また、オプションの「英語国際コース」は、週1回通学で月額9,000円、年間108,000円（教材費別）です。

「学習センター」の利用者数は、2013年度末までに約100名を見込んでいます。



報道関係のお問い合わせ先

株式会社シェーンコーポレーションジャパン 広報室：菊地岳彦

〒111-0052 東京都江戸川区西葛西 3-22-21 KYUビル4F

TEL：03-3675-6867 FAX：03-3869-2636 E-mail：takehiko.kikuchi@shane.co.jp

学校法人鹿島学園高等学校 副理事長：大森伸一

〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町 1-5

TEL：03-6802-5446 FAX：03-6802-5449 E-mail：omori01@gmail.com